



ブラケット PJ-15型

取付説明書

保管用

お客様へ

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用まえに「安全上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
この説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

上手に使って上手に節電



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■器具を改造したり、部品交換をしない



火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る



異常状態が収まったことを確認し、販売店、工事店にご相談ください。

必ず守る

■ランプは器具表示のものを使用する



間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。

必ず守る



注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。



点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

■ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る



通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

必ず守る

■本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する



本体の取り外しには資格が必要です。

必ず守る

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない



やけどの原因となることがあります。

●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

接触禁止

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取り付けは説明書に従い確実にを行う



取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

■接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実にを行う



接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

必ず守る

■取付面と本体パッキンのすき間およびパッキン外周部にシーラントを塗る



取付板パッキンと取付面とのすき間を防水シーラントなどで埋めてください。防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

必ず守る



■交流100ボルトで使用する



過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。

必ず守る

■次のような場所には取り付けない

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



- ・補強の無い薄い壁面（ベニヤや石こうボード）
- ・取付板パッキンより小さい取付面
- ・浴室などの湿気の多い場所
- ・燃えやすいものの近く
- ・水のたまる場所

禁止

- この器具は防雨型・壁面取付専用器具です。

■ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない



あやまって飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

注意

■温度の高くなるものの近くに取り付けない



ガス機器やその排気筒の上に取り付けしないでください。守らないと、火災の原因になることがあります。

禁止

■調光器と組み合わせて使用しない



調光機能が付いた壁スイッチなどの調光器と組み合わせて使用しないでください。火災の原因となる場合があります。

禁止

- 調光器の取り外しが必要です。

施工前のご注意

- ・次の様な場所に取り付けると、明るさセンサの誤動作の原因となります。
 - 昼間でも暗い場所……明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなる場合があります。
 - 昼間でも明るい場所……点滅したり、点灯しない場合があります。
 - 車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所……点滅する場合があります。
- ・器具天井・側面から0.3m以上障害物からはなして取り付けてください。（障害物があると点滅を繰り返すことがあります。）
- ・壁スイッチを設けることをおすすめします。壁スイッチを設けないとランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできません。

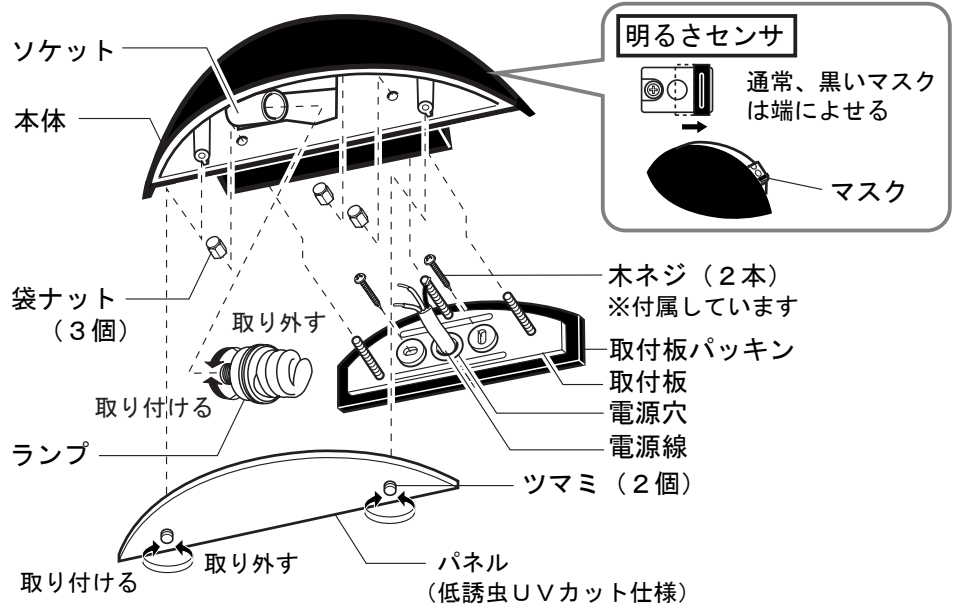
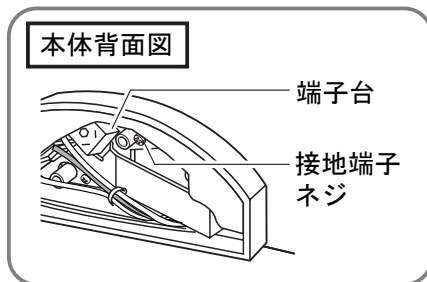
使用上のご注意

- 点灯直後約10分間は、明るさや光色が若干変化します。
- 周辺温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。
- ランプのプラスチック部分は使用していると変色する場合がありますが、性能には影響がありません。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- 低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。
- 電源投入時にランプが一瞬点灯する場合がありますが、異常ではありません。

各部のなまえ

■取り付け前の準備

- ①ツマミ（2個）を緩め、パネルを取り外す。
- ②ランプを取り外す。
- ③袋ナット（3個）を取り外し、本体と取付板を分離する。



取り付けかた

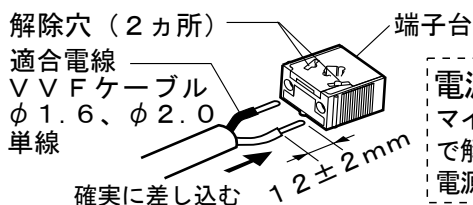
安全のため電源を切って行ってください。

1 付属の木ネジ（2本）で取付板を取り付ける

・取付ピッチ 66.7mm 83.5mm

2 端子台に電源線を接続する

接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行う



電源線の外しかた
マイナスドライバー等で解除穴を押しながら
電源線を引き抜く

4 ソケットにランプを取り付ける

5 本体にパネルを取り付ける

ツマミ（2個）を右に回して取り付ける。

注意 強く締め付けしないでください。
パネルが変形する原因となることがあります。

6 明るさセンサを調整する

明るさセンサ部を暗くして、点灯することを確認してください。
周囲の明るさに反応し、暗くなると自動的に点灯、明るくなると自動的に消灯します。

- 器具の近くに街灯等の強い光源があり点滅を繰り返す場合、明るさセンサのマスクを少しづつスライドさせ、直接光の量を調整してください。
- マスクを中央までスライドさせると、明るいうちから点灯し、朝、消灯が遅くなる場合があります。

3 袋ナット（3個）で本体を取り付ける



警告

電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因と
必ず守る なります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

- ランプの明るさが低下したり、消灯や点灯を繰り返すとランプの寿命です。パナソニック製ランプをお求めください。
- ランプの種類は器具に表示しています。**白熱灯は使用できません。**
- 種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

警告

! 間違った種類・ワット数のランプを使用しない
火災の原因となります。
必ず守る

1 パネルを取り外す

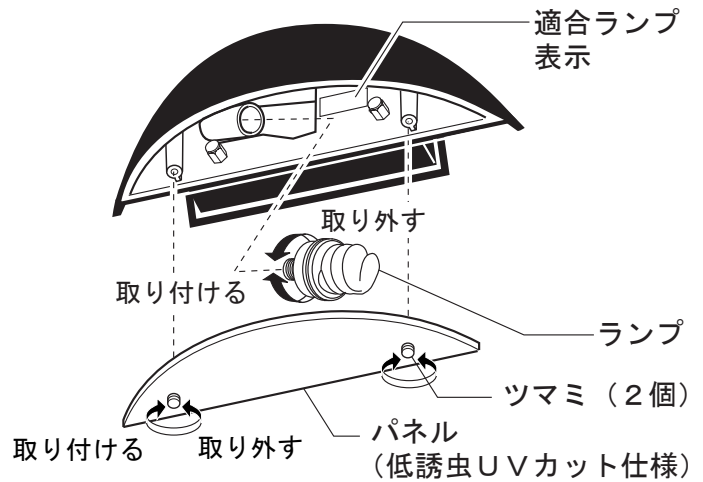
ツマミ（2個）を左に回して取り外す。

2 ランプを交換する

3 パネルを取り付ける

ツマミ（2個）を右に回して取り付ける。

注意 強く締め付けないでください。
パネルが変形する原因となることがあります。



お手入れについて

電源プラグを抜いて、ランプやその周辺が冷めてから行なってください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヵ月に1回程度）に清掃をしてください。汚れがひどい場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損、劣化の原因となります。

仕様


付属ランプの品名はランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz 共用	8W	D10形パルックボールプレミア蛍光灯（E17）

- D10形パルックボールスパイラル蛍光灯（E17）も使用できます。

●〈照明器具〉安全チェックシート●

※チェック欄が足りない場合は
コピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順	安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順
	/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	
 このような症状はありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。					○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。	1. 購入後、10年以上経過している。					○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。	
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。						2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。						3. カバーなどに変色・変形がある。						
	4. こげくさい臭いがする。						4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。						上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。						

取説コード

7227